

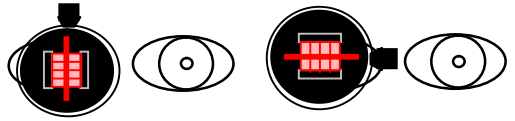
# 定量的眼位検査 自覚的斜視角検査 斜位の検査 (Maddox 小桿による方法)

目的 斜位の検出と定量

準備物 Maddox 小桿・光源・棒(回転)プリズム・検眼枠

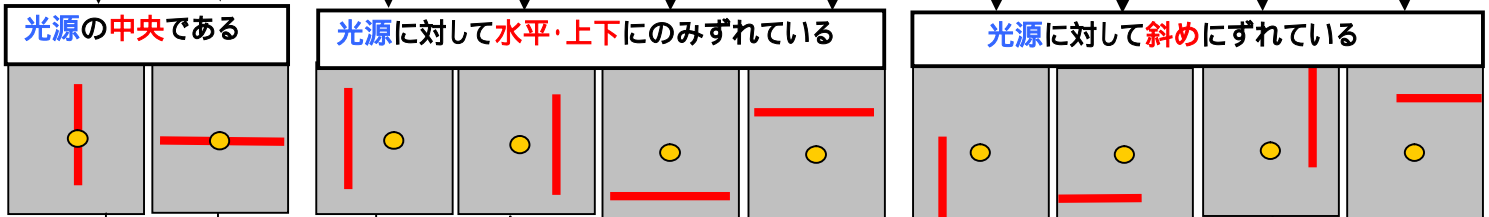
カバーテストで斜位であることを確認し、半暗室にて5mと1/3mの距離にて明るい光源を眼の高さで見せる  
もちろん矯正上でね。

Maddox 小桿(赤色が良い)を上下斜位なら小桿を垂直に、水平斜位なら水平に被検者に装着させて光源を固視させる



YES 小桿の線の位置は光源の中央か? NO

\*右眼に小桿を装着した場合



交差性 同側性 下方 上方 下方で交差性 上方で同側性

正位  
(融像力の強い斜位)

外斜位

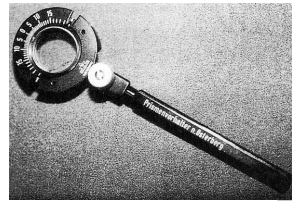
内斜位

小桿眼の上斜位  
(非小桿眼の下斜位)

小桿眼の下斜位  
(非小桿眼の上斜位)

小桿眼の外上斜位  
(非小桿眼の外下斜位)

小桿眼の内下斜位  
(非小桿眼の内上斜位)



回転プリズム 視能矯正マニュアル P154

ただし現在は発売中止

その他のパターンは自分で考えること!

小桿装用眼上に中和方向に弱い度数の棒(回転)プリズムを装用する

Base in Base out Base down Base up Base in down Base out up

棒(回転)プリズムを増加させ、線と光源が重なったら答えるように指示する

例) 交叉性で 10 Base in で線が光源の中央で重なった!

そのプリズム度数が自覚的な斜位量(単位は )

記載例)

Maddox 小桿による方法  
1/3m XP 10 Base in 又は 10  
5m XP 10 Base in 又は 10

屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

自分の結果を書いておこう!

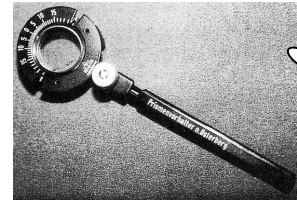
APCTの結果と比べてみよう! これは自覚検査だね。

# 定量的眼位検査 自覚的斜視角検査 斜位の検査 (プリズム分離テスト)

参考) アトラス斜視 P54

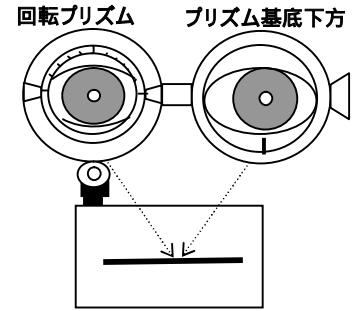
目的 斜位の検出と定量

準備物 棒(回転)プリズム・検眼枠・5~6 のプリズム  
・1本の直線が記入された紙・検眼枠



回転プリズム  
視能矯正マニュアル P154

ただし現在は  
発売中止。



もちろん矯正上  
でね。

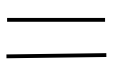
検査したい距離にてあらかじめカバーテストで斜位であることを確認しておく

水平偏位なら 5~6 プリズムを片眼の前に基底下又は上方に装用し、他眼に回転プリズムを度数なしにして(棒プリズムの場合は未装用)白い紙の上に書かれた1本の水平線を検査したい距離にて紙面と視線とを垂直にして見せる

NO 頭をまっすぐにして、2つの線が垂直  
および水平方向にずれるか? YES

\* 左眼にプリズムを基底下方に装用した場合

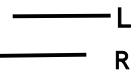
上下にのみ  
ずれる



装用したプリズム以上の上下ずれがある場合は確実に上下偏位もあるね。

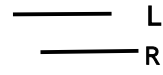
水平偏位なし  
(融像力の強い斜位を含む)

交差性に  
ずれる



外斜位

同側性に  
ずれる

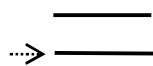


内斜位

2つの線の水平ずれがなくなるまで、中和方向に回転(棒)プリズムを増やす

例)

同側性で2つの線が 8 で  
水平ずれがなくなった!



水平偏位の場合、プリズムの入れ方はそのまま、紙面を縦線にし1直線になるように中和させた方が判り易いが、融像が容易になるかな?

そのプリズム度数が自覚的な斜位量(単位は )

記載例)

プリズム分離テスト  
1/3m EP 8 Base out 又は +8

屈折矯正の有無も記載すべきだが、記載は色々。

自分の結果を書いておこう!



APCTの結果と比べてみよう!  
これは自覚検査だね。